



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンR.I.会長

●本日の例会

4月12日／第458回例会

■卓話「最近の雇用と失業」

日本労働研究機構研究所長 高 梨 昌 氏

●先週報告

4月5日／第457回例会

■雑誌委員会報告（梶内副委員長）「ロータリーの友」4月号読みどころ紹介

- ①「『友』はあなたに必要か」 第5回ガバナー座談会（横組6頁）
- ②「老いても美しく輝くために」 朝日新聞論説委員 大熊由紀子氏（縦組②頁）
- ③「友愛の広場・米山奨学生カウンセラー」 当クラブ 山下忠治君（縦組⑦頁）

■青少年交換委員会報告（宮本委員長）

レイチェルさんのホームステイが3月31日、後藤会員宅より佐藤会員宅に変わりました。佐藤宅には5月末までお世話になる予定です。なお、6月以降帰国予定の7月中旬までのホームステイ先が未定であります。何とぞ会員の皆様のご支援とご協力をお願いする次第であります。

■社会奉仕委員会報告（入沢委員長）

平井会員の大東京信用組合では「災害時の行動基準」を全職員に徹底指示し、店舗長に携帯電話を配布し、マニュアルは自宅装備したとのことが、平成8年3月18日の金融経済新聞に大々的に取りあげられ、金融界から大きな反響と多数の紹介があった。又、協議会において港区発行の阪神・淡路大震災を教訓に「大震災に備えて」を配布したところ、この冊子によって我が社の古くなった防災マニュアルの全面的な見直し作業を行なっているとのこと高須、吉田、宮本各員から聞いた。

■慶事披露 ●米山功労者表彰／新保國彦君 ●誕生日祝／植田和男君（4月3日） 入沢頼二君（4月9日） ●100%出席／荒木昭文君（5年） 吉岡琢磨君（4年）

■出席報告 ●会員71名・出席45名・欠席26名（出席規定免除者2名）

ビジター（5名 敬称略）／立木正夫（東京東）、横原温幸（東京目黒）、花岡弘昌（東京西南）、立石信義、ファウベル（以上東京南）

ニコニコBOX

順不同・敬称略

4月5日19件 61,000円
95～96年度累計1,769,563円
多額のご寄付を有難うございました。

沖 宏之、小杉真史、入沢頼二、柴田尚毅、後藤信夫、梶内滋男、小湊雅亮、山川政樹、世良和信、武下 朗、馬場一廣、宮本正祥、島田昌雄、吉岡琢磨、岩瀬秀郎、川鍋二郎、宮武保義、荒木昭文、石坂二郎（紙面の都合上コメントを省略させていただきました。）

■4月火曜会報告

（4月2日 於 全日空ホテル 37F「アストラル」）

年度初めの大変忙しい時期にもかかわらず15名の方々の参加となりました。

ウェイター君のタイミングの良いサービスでぼろ酔い加減となったところで、沖会員のスピーチ「ロータリークラブあれこれ」——他のクラブ・我がクラブ——となりました。

参加者15名：沖、相澤、荒木、平井、入沢、河原、川鍋、小杉、佐藤、四分一、高須、武下、山川、吉田、横山（敬称略・順不同）

「ロータリーは縦社会でなく横社会……。良き会、会員として続けていくためにはお互いが相手を傷つけずにしかし自分の思っている事を素直に述べていく事が大切……。」等々、20年に及ぶ会員歴に裏打ちされた貴重なお話を伺う事ができました。質問コーナーになると早速「率直な質問等」が飛び交い、大変有意義なひとときでした。（横山記）

■4月定例理事会議事録

と き 96年4月5日（金）例会後13：40～15：00

と ころ 東京全日空ホテル 1階 孔雀の間

出席者 山川、入沢、河原、川鍋、鈴木、吉田、柳澤、新保、田辺、関（順不同・敬称略）

決 議 事 項

1. 新会員候補者推薦2名の受付を承認。
2. 出席免除規定適用の件／高橋良士君健康不良のため、クラブ定款第7条第3節(a)により、96年3月22日例会から当分の間、同君の出席規定を免除することを承認。
3. 職業表彰について
横井宗一氏（東京都港区教育委員会社会教育課主事）を表彰することを承認。
4. 4月～6月プログラムを承認。

報 告 事 項

1. 幹事報告

- ①派遣青少年交換学生・塩屋未来さんは去る3月23日オーストラリアへ出発いたしました。（D9750 Sylvaria RC、ホストファミリー Dor west）
- ②来日青少年交換学生・Rachelさんのホームステイが3月31日より後藤信夫会員宅から佐藤定宏会員宅へ変わりました。5月末までの予定です。それ以降のホームステイ先は決定しておりません。
- ③96年度派遣青少年交換学生の募集が開催され、青山学院高等部より応募される予定です。
- ④米山奨学生を推薦する場合は事前にクラブの了解を得ることを徹底する。
- ⑤クラブ事務所の賃貸借契約を前契約通り更新。（96.4.1～98.3.31）

■千代田区分IM、10周年記念行事 準備セミナー

「千代田区分IM」

沖IM実行委員長

IM、即ちIntercity Meetingについてご説明をお願いを申し上げますが、その前に地区の「分区」と「分区代理」について簡単に説明しておきたいと思ひます。

私は先般図らずも、中村ガバナーノミニーから、来年度の当地区千代田分区代理に任命されました。

1. 「分区」というのは、ご承知のように、ガバナーの地区管理の便宜上、地区の地理的範囲に応じて、地区内の隣接する複数クラブをまとめたグループのことでありまして、英語では分区をグループと呼んでいます。(千代田分区は千代田グループ) 当2750地区のクラブは、7つの分区(グループ)に分けられ、わが新南クラブは、千代田分区に所属しています。千代田分区に属するクラブ数は現在13クラブで、会員数は約1,500人です。曾て当地区の7つの分区は、A分区、B分区というふうに、AからGまで7分区の名称がつけられていましたが、1985~86年度に故渡辺和美ガバナーの時に、現在の千代田分区、山の手分区という呼称に変更されました。吾々の属する千代田区分13クラブの中、千代田区に事務局や例会場をもつのは南クラブだけで、あとの12クラブは港区と中央区のクラブなのですが、千代田分区と名づけたのは、この分区最初のクラブが千代田区の南クラブであったからではないかと想像しています。

2. 次に「分区代理」というのは、分区における非公式のガバナー代理という事になっており(英語ではGovernor's Group Representative) 分区内の各クラブ会長とガバナーとの間の連絡役をつとめ、分区内クラブの状況をガバナーに知らせ、又ガバナーの意向を分区内クラブ会長に伝え、ガバナー及び分区内クラブ会長の非公式助言者として行動することになっています。分区代理の今一つの任務は、分区内の「都市連合会」即ちIntercity Meetingの開催であります。

3. この「都市連合会」Intercity Meeting(略してIM)は年1回、分区代理が主催し、分区内全クラブからロータリアンが集って一堂に会し、ロータリーの奉仕活動その他の課題について意見を交換する会合であり、以前はIntercity General Forum(略してIGF)と称し、フォーラムによる意見交換、討議を行ってまいりました。数年前より単に意見交換だけでなく、分区内会員の親睦を深めることも、重点におく事とし、名称もIGFからIntercity Meetingと変えたものであります。

4. 今申し上げましたように、本来Intercity Meetingは分区単位のMeetingで、お隣りの2580地区はじめ多くの分区では、従来分区単位でIMを開催していますが、吾々の2750地区では7分区のうち多摩地区3分区と東京区部3分区では、夫々3分区合同IMを開催するが慣例であり、Pacific Basin Groupだけは、分区としてIMを行なっていました。皆様もこれまで吾々の千代田分区、山の手分区、京浜分区の三分区合同IMにご出席になったご経験がおありの事と思ひます。三分区合同のIMの場合は三分区代理が共同してIMの企画にあたり、三つの分区が年毎に交替でホストの分区となり、ホストの分区の分区代理が、三分区代理の代表として、IM実行委員長となり、その所属するクラブがホストクラブとなって、IMの準備から当日の実行にあたる慣例でありました。この慣例が続けば、来年度の三分区合同IMは京浜分区がホストの順番と決まっていたので、京浜分区代理が実行委員長で、その所属するクラブがホストクラブになる予定でした。それが突然地区の方針で、来年度より分区単位でIMを開催する事となりましたが、私としては思いもかけぬ重責を負う事となりましたが、IM本来の姿に戻るとした事なれば異議を唱える訳にも行きません。

5. こういう次第で来年度の千代田分区IMは私が実行の責任を負うこととなりましたが、そのため当クラブにホストクラブとなって頂かねばならず、皆様方に苦勞ご負担を、お願いせざるを得ないことになりました。殊に、来る12月の当クラブ創立

10周年記念式典等のイベント、年史編纂等の準備に挺身しておられます多くの会員の皆様に更にご負担をお願いすることは、心苦しく思うのでありますが、どうか事情をご理解いただき、クラブのためにご尽力、ご協力をお願い致しますと思ひます。

分区IMは、当クラブのIMではなく分区内全クラブのIMでありますから、全クラブの力を合せて準備、実行を果すべきであるとも云えませんが、実際問題としては、ホストクラブが主体となって準備万般をとりしきり、若干のお手伝いを、他クラブにお願いするのが、最も効果的であろうかと思ひます。当クラブは創立僅か4年にして、田辺ガバナーのもとで「地区大会」「会長エレクト研修会」および「地区協議会」など地区レベルの重要会議のホストクラブを見事に務めて参りました。残る一つの重要会議がこのIMであります。IMのホストクラブ役は、分区内クラブが毎年替り合って務めるとして、このあと少なくとも12年間は、(もしクラブ数が増えなければ、更に永く) 順番が廻って来ないだろうと思ひます。そう云う役目でありますから、大変ご苦勞をおかけ致しますけれど、皆様方のお力で立派にホストクラブのお役目を果して頂くようお願いを申し上げる次第です。

予定としては、本年10月4日(金)の午後、芝の東京プリンスホテルで開催を決定しております。

当日は12:30 登録受付

13:00 点鐘 開会 13:30~14:30 講演(講師未定)

14:40~17:30 パネルディスカッション(第1部及び第2部)

テーマは目下検討中

18:00~19:30 懇親パーティ(立食)

まだこのようなラフなスケジュールを決めただけでこれから実行委員会としては、諸委員会を設置して、夫々準備を進めて頂くよう、お願いを致します。

このようなことで、これから10月4日のIMに向けて皆様方の絶大なご協力とご支援を得て準備を進めて行きたいと考えておりますので、どうかよろしくお願い致します。

「10周年記念行事」

村川総括委員長

本年12月6日(金)には吾が東京新南RCの創立10周年記念の祝典が催されることは、皆さん既にご承知のことと思ひます。

十年一昔と申しますが経て見ると早いもので、今ここに創立10周年を迎えることは、特にチャーターメンバーの各位にとっては感無量のものがあると思ひます。当RCの正式の創立日は1986年10月3日ですが、諸般の事情を考慮して、例年行われる年末忘年家族会とこの10周年記念祝典を一緒にして12月6日夕刻に挙行することになりました。この行事は東京新南RCの生成発展の歴史の中の一つの記念すべき大きな節目でありますので、全会員力を合わせて盛大且つ有意義な行事とするよう、皆さんの絶大なご協力をお願いする次第です。

当日は東京全日空ホテルの宴会場にて、まず午後5時から「第1部・記念式典」が始まり、会員とその家族及び、当クラブ創立以来お世話になった関係者各位参列の中に国歌「君が代」斉唱から始まって、会長挨拶に引き続き記念事業(目下検討中)の報告、各種感謝状贈呈、来賓挨拶等によって厳肅な雰囲気の中に式典を終えます。

続いて「第2部・祝宴及び、忘年家族会」が午後6時半頃から始まりまして、アトラクションとして、有名なテノール歌手岡村喬生氏(東京世田谷南RC会員)の芸術を鑑賞しつつ晩餐を楽しみ、その中で会員とその家族がお互いの親睦を図り、10周年の喜びを分かち合うと共に、今後の東京新南RCの益々の発展を祈り合うこととなります。

この創立10周年記念行事のために既に実行委員会が結成され、来年度の親睦活動委員各位と一緒に着々と準備作業を進めております。

当クラブ会員皆さんの絶大なご協力をお願いいたします。

●次週予告

■第2回クラブフォーラム

4月19日/第459回例会

テーマ「ロータリー情報」

(例会後13:10~14:30)

東京新南ロータリークラブ

会長: 山川政樹 副会長: 柴藤清三郎 幹事: 関 征春

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、
吉岡 琢磨、大村 富俊(編集担当順)